

実践ライブラリー：中学部 教科名 「モノプリント版画をしよう」

不器用だけど、自分だけで描きたい。
自慢の作品を作りたい。

見通しをもって安心して制作できる。
自分の作風の良さに気づいてほしい。

①ヘラで描こう(単色モノプリント版画)

ローラーと絵の具が好き。ヘラで描く方が躊躇なく取り
かかりやすい。

版画はしたことがない。刷ることに興味はあるが失敗
するのがこわい。

⇒一度しか刷れない(モノプリント)版画は、原版を彫ら
ずにできる手軽さが魅力。



おすすめ ポイント

ヘラの勢いが生き生
きと表現でき、迫力
のある作品になった。
微細な手指の動きが
必要ないので気軽に
チャレンジできた。

版画の良さ

刷りあがりの時に「うまくで
きたかな？」とみんなが注目
し、「わあ！すごい」と歓声
が上がって、うれしい。



②カラーモノプリント版画

透ける紙にモノプリント版画をした後、裏面から絵の具
で着色した。ヘラで描いた部分にのみ絵の具が透けて
見えた。版画の技法は大きく変えなくても、刷る用紙の
違いで作品の雰囲気は全く違うことに気づける機会と
なった。



紙の違いに注目

刷る紙、絵の具の種類などを変えて
制作することで「スタンドグラスみ
たい」「透けるんだ」と素材の違い
に気づけた。

完成するまでドキドキ

見ていて飽きない教材だと
感じた。刷り上がってすぐ
に鑑賞し、感想を伝え合う
姿が見られた。